

◆戸別収集・有料化全市実施説明会 Q&A

平成 25 年 7 月 27 日 (土) 午前 10 時から午前 11 時 24 分

場所 手広中学校開放施設 多目的室

参加者 20 名

- 1 鎌倉市のごみの現状について
- 2 戸別収集・有料化説明 DVD 上映
- 3 モデル事業等についての概要説明
- 4 質疑応答

Q 戸別収集が始まった場合、クリーンステーションにあるネットボックスはどうなりますか。

A クリーンステーションごとに事情があると思います。不要であれば無料で回収する予定です。

Q 収集時間が遅くなると、防犯上の問題や臭気（特に燃やすごみ）の問題が気になります。

A 燃やすごみについては午前中に収集する予定です。

Q モデル地区の結果を見ると、分別があまり進んでいないように見えます。このまま全市実施して減量が進まなかった場合の補完策はありますか。

A モデル地区の住民は、分別の意識が高かったため、このような結果となったと考えられます。

モデル地区において有料化は実施しておらず、有料化を組合せることで、家庭系燃やすごみ約 25,000 トンの 14 パーセント、約 3,500 トンの減量を見込んでいます。なお、国のデータでは、鎌倉市と同額（1 リットルあたり 2 円）の料金設定をした場合、約 22 パーセントの減量が見込まれるというものがあります。

戸別収集・有料化でごみを減量・資源化してもらうためには、市から分別ができていない住民に対してきちんと対応していかなければならないと考えています。分別が悪い世帯や指定収集袋を使わない世帯については、個別に訪問し、分別のお願いをしていく予定です。

Q 西鎌倉で住民アンケートをとったところ、4 分の 3 近くの住民が「クリーンステーション収集のままでよい」と回答しました。クリーンステーション形式でうまくいっている地区もあるので、あえて戸別収集に変えなくてもよいと思います。（他同様の意見 2）

A 藤沢市では、有料化した際にクリーンステーション収集を行う地区と、戸別収集を行う地区が両方ありました。ある程度まとまって（町内会単位等）クリーンステーションの継続を希望される場合は、柔軟に対応したいと考えています。

Q 戸別収集が始まった場合、住宅事情から公道に出さざるを得ない住民もいます。

A 各戸の事情については、個別に相談させていただきます。

Q ごみの減量を行っても、市内のどこかに新焼却施設を作らないとごみがあふれてしまうと思います。

A 安定的なごみ処理のためには新焼却施設が必要であると考えています。新焼却施設については、昨年度に新焼却施設に係る基本構想を策定したところです。今後、より具体的な検討を行っていきます。

Q 今回の戸別収集・有料化は P R が足りないと思います。何回かチラシを入れる等、もっ

と情報がいきわたるようにしてから説明会を開催してもよかったのではないのでしょうか。

A 市民への広報については、広報かまくらへの掲載を6月1日号以降毎号のように行っています。また、タウンニュースや駅前等へのポスター掲示等についても行っています。

広報が足りないというご意見については真摯に受止め、今後の広報の方法について検討していきたいと考えています。

Q 指定収集袋を作成するのに係る費用はどのくらいですか。

A 年間 8,300 万円と推計しています。なお、この費用については、有料化による歳入のなかで相殺した形で公表しています。（作成費用を含めても4億5千万円の歳入、の意）

Q ごみになるものを買って使うことについては罪悪感があります。鎌倉市だけの話ではないですが、皆でごみを出さないよう考える必要があります。

A 今の仕組みは、出した人、処理する自治体が費用を負担する形となっています。生産者にもごみ処理の責任を負ってもらうよう、国に働きかけています。

なお、資源循環課の発行している広報誌（ごみ減量通信）では、ごみの減量（リデュース）についても掲載しています。

Q 説明会資料の P14、P19 について、全戸配布してくれませんか。

A 全戸配布についてご希望に沿えるかはわかりませんが、同様の内容については鎌倉ごみ減量通信（発行4万部）に掲載しています。

Q 2世帯住宅には広報誌が1部しか配布されません。2部配布するようにしてください。

A 配布業者に改めて言っておきます。

Q 自分が現在住んでいるところは集合住宅であり、24時間出せるようになっています。こういうところでは、排出者責任が明確にならないと思います。

また、燃えないごみについては、袋に入れるのではなく、飲食用カン・ビンでやるようにコンテナに入れる方式でもよいのではないのでしょうか。

A 不燃ごみについても、減量を目的として有料化することとしました。不燃ごみをコンテナに入れる方式では、個々人が出す量を把握できないため、料金設定が難しいと考えられます。

Q 集合住宅で清掃員が入っているところでは、結局ごみ袋を開けられ、整理されてしまいます。この場合、袋に入れたとしてもあまり意味がないと思います。

A 今後の検討課題にさせていただきます。

Q 有料化の目的は何ですか。

A ごみの発生抑制です。

Q 分別したごみについてはどうなっていますか。

A それぞれ資源化しています。

Q 製品プラスチックは資源化していますか。

A 現在焼却していますが、今後資源化するよう研究していきます。

Q 資源化を始めるのが遅いように思います。

A 今までは製品プラスチック資源化の経費が高かったのですが、近年買取りができるようになる等、処理費用が安くなってきたため、資源化を検討することになりました。

また、今後鎌倉市が目指していくのは、リサイクル率1位ではなく、ごみを出さないような仕組みづくりです。今回の戸別収集・有料化についても、ごみの減量に有効であることから行うものです。

Q 今回の説明会のような機会を得られ、様々な意見を聞けて良かったです。今後ともこういった機会を設けてほしいと思います。

A 今後もこういった機会を設けたいと思います。ありがとうございます。

【ご意見】 この説明会に出席して、8,000 トンのごみ減量が必要であること、戸別収集・有料化がごみの減量・資源化に有効であることがよく理解できました。市民にきちんと説明すれば、皆理解してくれると思います。